

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成18年1月26日(2006.1.26)

【公表番号】特表2005-514611(P2005-514611A)

【公表日】平成17年5月19日(2005.5.19)

【年通号数】公開・登録公報2005-019

【出願番号】特願2003-558436(P2003-558436)

【国際特許分類】

G 01 R	33/09	(2006.01)
G 01 D	21/02	(2006.01)
G 01 K	7/20	(2006.01)
G 01 K	7/36	(2006.01)
H 01 L	43/08	(2006.01)

【F I】

G 01 R	33/06	R
G 01 D	21/02	
G 01 K	7/20	Z
G 01 K	7/36	Z
H 01 L	43/08	Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月29日(2005.11.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の磁気抵抗素子と、

前記第1の磁気抵抗素子と電気的に直列に接続された第2の磁気抵抗素子と、

磁界に比例した信号を提供する第2の磁気抵抗素子にわたって得られる第1の出力と、
温度に比例した信号を提供する第1及び第2の磁気抵抗素子にわたって得られる第2の
出力と、

第1及び第2の磁気抵抗素子の磁気抵抗特性を使用して、第1及び第2の出力を磁界読み及び温度読みに変換するように作動する論理検出素子、との組み合わせからなることを特徴とする検出デバイス。

【請求項2】

前記磁気抵抗特性が、ブリッジ感度と、零度でのブリッジ抵抗とを含むことを特徴とする請求項1に記載の検出デバイス。

【請求項3】

前記磁気抵抗素子が、(i)異方性磁気抵抗素子及び(ii)巨大磁気抵抗素子からなるグループから選択されることを特徴とする、請求項1に記載の検出デバイス。

【請求項4】

前記第1の磁気抵抗素子が、電源に結合されていることを特徴とする請求項1に記載の検出デバイス。

【請求項5】

前記電源が、(i)前記検出デバイス内に備えられた電源及び(ii)前記検出デバイスの外部の電源からなるグループから選択されることを特徴とする、請求項4に記載の検

出デバイス。

【請求項 6】

前記電源が、前記第 1 の磁気抵抗素子に結合された一定の電流源を備えることを特徴とする、請求項 4 に記載の検出デバイス。